

表の見方	肯定的な回答が8割を越えたもの＝○印	生徒		保護者		教職員	
	8割を越えない項目は数字(%)で表示	昨年	今回	昨年	今回	昨年	今回
設問の 要旨	学習活動にしっかり取り組む	79	68	62	66	○	○
	仲間と協力して取り組む	○	○	77	73	○	○
	最後まで粘り強く取り組む	○	○	70	70	○	○
	元気で明るいあいさつ	○	○	○	○	○	○
	わかりやすく、ていねいな授業	○	○	72	○	○	○
	ITや少人数授業の効果	○	○	69	75	○	○
	自然教室・職場体験・修学旅行など体験学習	○	○	○	○	○	○
	学習評価のわかりやすさと活用	74	73	○	○	○	○
	学校行事や学級活動への取り組み意欲	○	○	○	○	○	○
	協力・まとまりの学級づくり	○	○	○	○	○	○
	教育相談等、生徒理解	77	75	73	○	○	○
	道徳・人権学習の実践	○	○	77	○	○	○
	部活動での仲間意識	○	○	○	○	○	77
	部活動におけるやりがい	○	○	○	○	○	○
	学校の安全安心	○	79	78	○	○	○
	学校の情報発信	○	○	○	○	73	73

1年間での自己成長の自覚	98%		88%			
--------------	-----	--	-----	--	--	--

415人中 370人中

【成長を 感じる 内容】	ア. 学力・学習面	26%	48%
	イ. 体力・運動面	28%	46%
	ウ. 考え方	26%	38%
	エ. 会話・表現力	11%	26%
	オ. あいさつ	7%	32%
	カ. 人とのかわり方	29%	50%
	キ. 根気	8%	19%
	ク. 家庭での役割	11%	11%
	ケ. その他	1%	1%

川越中学校 平成24年12月実施 教育活動アンケート

※数字は、各項目において、「あてはまる」「ややあてはまる」と答えた人の割合です。

大幅な向上

小幅な向上

やや向上

現状維持

やや低下

小幅な低下

大幅な低下

生徒		昨年比	保護者		昨年比	教職員		昨年比
①	あなたは、学習にしっかり取り組んでいますか。	68.2 %	①	お子様は学習にしっかり取り組んでいますか。	65.6 %	①	学習にしっかり取り組めるようにしていますか	93.3 %
②	あなたは、学校で仲間と協力できますか	90.8 %	②	お子様は何事にも協力して取り組んでいますか	73.0 %	②	仲間と協力できるように指導していますか	90.0 %
③	あなたは、何事にも最後までしっかりと取り組んでいますか。	86.1 %	③	お子様は何事にも最後までしっかりと取り組んでいますか	69.8 %	③	何事にも最後までしっかりと取り組めるようにしていますか	90.0 %
④	あなたは、元気よく明るくあいさつができますか。	87.2 %	④	お子様は元気に明るくあいさつができますか	85.9 %	④	元気よく明るくあいさつができるようにしていますか	90.0 %
⑤	先生は、勉強をわかりやすく、ていねいに教えてくれますか。	84.7 %	⑤	先生はわかりやすく丁寧な授業を行っていると思いますか	83.3 %	⑤	授業時数の確保と、わかりやすい授業の実践に努めていますか。	100.0 %
⑥	TTや少人数教育のときの授業はわかりやすいですか。	80.3 %	⑥	お子様はTTや少人数授業のときの授業はわかりやすいと言っていますか	74.8 %	⑥	TTや少人数指導において工夫ある授業を展開していますか。	80.0 %
⑦	あなたは、自然教室・職場体験・修学旅行などの学習に意欲的に取り組みましたか。	94.0 %	⑦	お子様は自然教室、職場体験、修学旅行などの学習に意欲的に取り組みましたか	96.7 %	⑦	生徒の個性や特性に応じた地域学習や体験学習を展開することができましたか。	83.3 %
⑧	あなたは、学校の成績はテストの点数だけでなく、学習活動全体で評価されていると思いますか。	73.3 %	⑧	お子様の学習の評価はテストの点数だけでなく、いろいろな面から評価されていると思いますか	86.6 %	⑧	指導と評価の一体化をはかり、生徒のやる気を引き出すことができましたか。	80.0 %
⑨	あなたは、学校行事や学級活動など学習以外の活動もしっかり取り組んでいますか。	85.9 %	⑨	お子様は、学校行事や学級活動など教科の授業以外の活動もしっかり取り組んでいると思いますか	91.5 %	⑨	学校行事、学級活動など学習面以外の活動もしっかり指導していますか。	90.0 %
⑩	学級は、みんなが協力するまとまりのあるクラスになっていますか。	84.9 %	⑩	お子様の所属するクラスはみんなが協力するまとまりのあるクラスとなっていますか。	86.1 %	⑩	生徒同士が協力してまとまりのある学級集団づくりに取り組んでいますか。	86.7 %
⑪	先生は、相談にのってくれますか。	75.5 %	⑪	先生は子どもの相談にのってくれていると思いますか	86.4 %	⑪	教育相談などの機会を利用して、生徒理解に努めていますか。	93.3 %
⑫	あなたは、道徳の時間や人権学習の授業にしっかりと取り組んでいますか。	87.0 %	⑫	学校は、道徳や人権学習にしっかりと取り組んでいますか	89.5 %	⑫	道徳の時間を計画的に実施し、人権教育を推進していますか。	96.7 %
⑬	あなたは、先輩や後輩と楽しく部活動に参加していますか。	89.7 %	⑬	お子様は上級生や下級生といっしょに楽しく部活動に参加していますか	90.5 %	⑬	異年齢集団を意識した活動を通して、人のかかわり方について指導していますか。	76.7 %
⑭	あなたは、部活動にしっかり取り組んでいますか。	90.8 %	⑭	お子様は部活動にしっかり取り組んでいますか	91.2 %	⑭	活動への意欲を高め、達成感や成就感が持てるように指導していますか。	86.7 %
⑮	学校は、危険なところがなく、安全に生活できますか。	78.9 %	⑮	授業公開、懇談会、学校だより、ホームページ等で学校での生徒の様子がよくわかりますか	88.7 %	⑮	授業公開や懇談会の実施、学校だよりや学年だよりの発行を通して生徒の様子を理解してもらうよう努めていますか	90.0 %
⑯	学校の様子を伝えていますか。	88.6 %	⑯	学校の施設には危険な場所がなく、安心して学校にアズけることができますか。	92.0 %	⑯	学校施設等の安全を点検し、常に改善を心がけていますか。	73.3 %

教育活動アンケートの結果分析と考察について

平成24年12月実施

① あなたは、学習にしっかり取り組んでいますか。

生徒・保護者の数値は7割弱ですが、9割以上の教職員は、学習活動にしっかり取り組んでいると考えています。教師は学校での学習活動の様子から評価していますが、生徒・保護者は、家庭学習も含めた回答となっているため、学習習慣をつけるために取り組んできた『整理と対策』や『毎日の学習』が定着していない生徒がいることから、やや低い割合になっていると考えられます。今後、1・2年生では、基礎学力の向上を図るとともに、学習習慣が定着するよう生活環境の改善を家庭と連携しながら進めていくことが大切だと考えています。

② あなたは、学校で仲間と協力できますか。

数値としては昨年度を下回っていますが、1年生8割強、2・3年生9割強の生徒、教職員は9割が協力できていると考えています。生活班を4人にして学校生活をおくっているため、授業中の班活動などで協力がみられます。また、自然教室、職業体験、修学旅行、社会見学、体育祭、文化祭などの行事を中心に、学級全体が団結できたという雰囲気が見られました。保護者の数値については、学校の情報が生徒を通じてご家庭へ伝わっていないことが予想されます。今後も通信やHP等で情報発信して学校での様子を伝えたいと思います。

③ あなたは、何事にも最後までしっかりと取り組んでいますか。

全学年、8割以上の生徒があてはまると回答していることから、多くの生徒は最後まで粘り強く活動することができていることがわかります。教職員も生徒の日頃の頑張りから9割以上の数値を示しています。しかし、自分のやらなければならないことができない生徒も見られることが反省点としてあげられます。保護者の数値については、学校での様子がご家庭へ伝わっていないと思われるので、通信やHP等で伝えるよう、努めたいと思います。

④ あなたは、元気よく明るくあいさつができますか。

生徒会を中心として『あいさつ』に力を入れているため、生徒・保護者・教職員ともに9割近い満足度となっています。しかし、あいさつができる生徒は限られているのが現状です。特定の場面で、特定の生徒があいさつしているというのではなく、全員が自然なあいさつをかわすことができるよう働きかけをしていくことが必要です。今後、あいさつ、言葉遣いなど、礼儀の大切さを考えさせるために、授業開始時のあいさつや、授業中の返事も含め、大きな声で元気にできるよう進めていくつもりです。

⑤ 先生は、勉強をわかりやすく、ていねいに教えてくれますか。

1年生は中学校の授業に慣れていないこともあり、2・3年生に比べて数値が低くなっているように思われます。学年が進むにつれ、授業の進め方にも慣れ、わかりやすいと感じる生徒が増えていきます。「おおむね満足できている」が、どの学年も8割を超えていますが、わかりにくいと感じている生徒も少数いるため、現状に満足することなく、わかりにくいと感じている生徒を減らすことができるよう、わかる授業に努め、授業改善のための工夫をさらに進めたいと思います。具体的な方策のひとつとして、1年生は、帰りの会等を生かした復習の時間を設けています。2・3年生では昨年度から「毎日の学習」プリントや「整理と対策」問題集に取り組み、学習習慣の定着と基礎学力の向上を図っています。

⑥ TTや少人数教育のときの授業はわかりやすいですか。

全体の8割以上の生徒、保護者がわかりやすいと評価しています。生徒の調査結果をみるとTTや少人数を実際に多く実施している1年生より、2・3年生の方が分かりやすいと答えている割合が高く表れています。2・3年生は、TTや少人数の授業が減って、はじめてその効果を感じ、TTや少人数の授業を望んでいると考えられます。一人ひとりの生徒へ、今まで以上に目を向けていけるよう、工夫ある授業を展開していこうと考えます。

⑦ あなたは、自然教室・職場体験・修学旅行などの学習に意欲的に取り組みましたか。

1年生は初めての行事ということもあり9割をやや切る結果となりましたが、2・3年生については、ほぼすべての生徒が意欲を持って取り組んでいると答えています。行事に対して、生徒が意欲を持ちやすいと思いますが、各学年の取り組みの成果がよく表れているように感じました。

⑧ あなたは、学校の成績はテストの点数だけでなく、学習活動全体で評価されていると思いますか。

生徒はテストの点数が評価に大きく反映されていると思っているようですが、保護者からの評価が高いことから、保護者のみなさまには、ご理解いただいていると思われます。教職員は、今までも評価方法を生徒に伝えてきましたが、より一層、各学年・教科ごとに評価の仕方を具体的に生徒に伝えていく必要があると思われます。特に1年生ではその必要性を感じますので、入学当初から丁寧にわかりやすい言葉で指導していくことが必要です。

⑨ あなたは、学校行事や学級活動など学習以外の活動もしっかり取り組んでいますか。

9割以上の保護者が、取り組んでいると回答しています。数値が高いのは、体育祭や、文化祭、授業参観等の学校開放により、子どもたちの活動する様子から、感じることであった結果だと思われます。教職員の数値も9割以上が取り組んでいると感じていることも、生徒たちが生徒会活動や委員会活動、部活動へ熱心に取り組む姿から感じる結果だと思われます。しかし、約1割強の生徒が取り組めていない状況から、集団活動ができるよう、全員が最後までやり遂げることができたという達成感を味わうことができるよう、ご家庭での声かけや学校でのアプローチを工夫していくことが大切です。

⑩ 学級は、みんなが協力するまとまりのあるクラスになっていますか。

三者ともに、8割以上の数値となっています。アンケートの時期から、文化祭に向けての取り組みをイメージして回答した生徒が多いと考えられます。文化祭にはどの学級もひとつの目標に向かって取り組めたことから、学級に好印象を持っている生徒が多いと思われます。しかし、1割以上の生徒・保護者・教職員が、そう思わないと感じていることから、さらにまとまりのある学級となるよう、リーダーシップを取ることができる生徒を育て、今後も班長会や室長会を通し、リーダーの育成を図ることが大切だと考えられます。

⑪ 先生は、相談にのってくれますか。

全体で7割半の生徒、8割半の保護者があてはまると回答しています。学年により、生徒では8割以上の高い数値となっているため、良い関係ができていると思われます。しかし、あてはまらないと答えた生徒・保護者も数名おり、教職員のケアが届かない生徒もいることがわかります。教職員は、教育相談期間を設け、全員と話をすることが大切であり、毎日の学校生活の中で、全員とコミュニケーションをとっていく努力が必要であると感じ、実践しているため、9割以上の数値となっています。これからも、今まで以上に生徒へ目を向け、生徒に寄り添い、信頼関係を築けるよう努めたいと思います。

⑫ あなたは、道徳の時間や人権学習の授業にしっかりと取り組んでいますか。

生徒は各学年8割を超え、特に2年生については9割を超える高い数値となりました。保護者の満足度はどの学年も約9割と高い数値であり、学校での取り組みをご理解いただいていることがわかりました。

各学年とも、公開授業や人権学習に対する取り組みに力を入れてきたため、教職員の満足度も9割半以上の回答となりました。高い数値となったのは、本年度も昨年度の反省を踏まえ、改善した授業が行えるよう、他学年との意見交流や、学年教師集団全員で教材研究に取り組むなど、仲間づくりも含めた人権学習に対する意識をより一層高めることができた結果であると捉えています。

⑬ あなたは、先輩や後輩と楽しく部活動に参加していますか。

約9割の生徒、保護者が楽しく部活動に参加していると回答していますが、教職員は8割弱です。この数値から、ほとんどの生徒は部活動を楽しみにしており、意欲的に参加できていると思われます。特に2年生は、部活動内で最上級生になったという高い意識があり、9割以上の生徒が満足していると回答しています。保護者は、9割以上の高い数値が出ており、好意的な評価をいただいています。中学校生活の中で、部活動は心身の成長に重要な役割を果たしていますので、全員が参加できるしっかりとしたしつみを整えることがこれからも必要だと思います。

⑭ あなたは、部活動にしっかりと取り組んでいますか。

毎年、生徒・保護者の部活動に対する期待は高いと考えられ、生徒全体では9割以上が満足しています。保護者については、3学年とも9割以上の高評価をいただいています。

教職員も8割半以上の回答から、十分な指導ができていると思われますが、その反面、6限日課が週4日となり、限られた時間の中で十分な部活動指導を行っていくのは難しいという思いもあり、必ずしも十分な満足のいく部活動指導ができているとは言えない面もあります。

本校生徒の特徴を考えると、生徒自身で活動していく力が弱いため、教職員のサポートが必要です。今後も生徒たちが自主的に活動できるよう、また、限られた時間で密度の高い練習ができるよう、方策を工夫し、教職員が指導していくことが大切です。

⑮ 学校の様子を伝えていますか。

約8割の生徒が学校からの配布プリントを家庭内できちんと見せることができているという結果から、保護者とお子さんの関係が良好であることがうかがえます。保護者は、授業公開や懇談会へたくさんの方が参加し、学校での子どもの活動を見ていただいている結果から、約9割の方が、あてはまると回答しています。学校通信や学年・学級通信、HP等により、学校の様子を伝えていることも数値の向上につながっていると思われます。しかし、生徒の2割、保護者・教職員の1割は、あてはまらないと感じている結果から、今後も学校の様子が正しく伝わるよう、学校通信や学年・学級通信、HP等の充実を図っていききたいと思います。

⑯ 学校は、危険なところがなく、安全に生活できますか。

約9割の生徒・保護者がともに学校施設に対して安心・安全であると感じています。教職員が安心・安全であると感じている割合が約7割にとどまっているのは、生徒・保護者より早く気づき対処しているからです。危険箇所や修理が必要な箇所に日常から目を向け、整備を進めたり、危険から回避させる指導を行っていることが高い満足度につながっていると思われます。今後も、より安心・安全な学校施設になるよう、危険箇所を早期に見つけて対処することが必要です。

1年間で自分の成長を実感しましたか。

生徒・保護者ともに、「人とかかわり方」の評価が1番高く、次に「学力・学習面」と「体力・運動面」、「考え方」「会話・表現力」「家庭での役割」でした。今後も成長していけるよう、ご家庭と連携しながら指導していききたいと思います。